

小学5年生までのお子さんを
持つ保護者の方は必読！

平成25年4月診療分から 子ども医療費助成の外来医療費の助成を 小学校卒業相当の年齢まで拡大します



平成25年4月に新小学3年生～新小学6年生になる方で、外来などを受診する方は、事前に申請が必要です。1月下旬に各小学校を通して申請書を配布していますので、早めに申請してください。申請の受け付けは随時行っています。

拡大後の 助成内容

- ・入院…出生～中学校卒業相当の年齢
- ・外来…出生～小学校卒業相当の年齢

※中学生は引き続き
入院のみの助成です。

助成を受けるには？

「子ども医療費助成受給者証」をすでにお持ちのお子さんは、自動更新となりますので、受給資格登録などの手続きは不要です(※1)。

まだ受給資格登録がお済みでない方は、受給資格登録申請を行った上で、事前に受給者証の交付を受けることが必要です(※2)。受給者証交付前に受診した医療費は、助成できない場合がありますのでご注意ください。また、制限額を超える所得がある方については受給者証を交付することができません(登録のみ)。

※1 制限額を超える所得があるため、現在は登録のみとなっているお子さんも手続き不要です。また、新小学6年生までの方で、現在、

入院専用の受給者証(緑色)をお持ちのお子さんには、入院・外来兼用の受給者証(ピンク色)を3月末日までに郵送します。

※2 現在、心身障害者医療費助成や母子・父子家庭医療費助成を受給しているお子さんも、子ども医療費助成が優先となりますので、子ども医療費助成の受給資格登録がお済みでない方は、新たに申請が必要となります。

受給資格登録申請に必要な物

- ①子どもの被保険者証(保険証)、②保護者(原則として保険証上の扶養者)の預金通帳、③印鑑、④保護者の住所が平成24年1月1日時点で白石市外にあった方は、保護者の

[平成24年度(平成23年分)所得課税証明書(※3)]。平成24年1月1日にお住まいだった市区町村で交付を受けてください。白石市に住所があった方は、④は不要です。

※3 平成23年分の所得情報と課税状況が分かる証明書で、合計所得金額や扶養人数、控除額などが記載されているものです。

申請随時受け付け中！

受給資格登録申請の受け付けは、随時行っています。平成25年4月より前に受給資格登録を済ませた場合、入院医療費は受け付け完了直後から助成対象となりますので、4月前にお子さんが入院した場合は、健康推進課までお知らせください。

●申請・問い合わせ先 健康推進課(健康センター1階) ☎22-1362

高齢者見守りの取組みに関する 協力協定締結式



異変に気付いたら市に連絡！ 高齢者の孤独死を防ぐ みやぎ生協と高齢者見守りに関する協定を締結

平成24年12月12日、本市とみやぎ生活協同組合は、高齢者の孤独死を防止し、高齢者が安心して自立した生活を営めるよう支援することを目的に、「高齢者見守りの取組みに関する協力協定」を締結しました。市役所での締結式には、みやぎ生協の齋藤昭子理事長と風間市長などが出席し、協定を締結。協定には、みやぎ生協で行う共同購入の配達や宅配水の配達、夕食宅配サービス、ふれあい便(店舗買い物代行事業)、灯油配達の配達業務全般で、前回の配達商品がそのままになっていたり、玄関に施錠がなかったり、郵便受けに新聞や郵便物がたまっていたりするなど、配達担当者が気になることや異変に気付いた場合、市に連絡することなどが盛り込まれました。

風間市長は、「高齢化社会では、行政、事業者、福祉関係団体、そして地域がこれまで以上に連携を行い、地域ぐるみで支え合いに取り組むことで、安心して暮らせる長寿社会の実現が重要と考えます。今回の協定はその一翼。敬意を表します。協定を機に、高齢者見守りの取り組みへの協力とともに、児童・障がい者など、高齢者以外の世帯でも異変に気付いた場合は、連絡をお願いします」とあいさつ。みやぎ生協の齋藤理事長は「平成24年10月、宮城県と協定を結び、今後は、県内すべての市町に協定を締結する提案を行っています。高齢化社会はみんなの問題。『地域のみんなで見守る体制』づくりを進め、いざという時に迅速な対応を行えるよう、日常のコミュニケーションを深め、商品と一緒に安心をお届けしたいと思っています」と話しました。

広報しろいし 今月の表紙

Shiroishi

広報しろいし2013年2月号
平成25年2月1日発行
No.642



「木地雛の里 雛の宴展」を

3月3日(日)まで、弥治郎こけし村で開催中

みちのくの木地師が心を込めて制作した、表情豊かな愛らしい「雛こけし」を多数展示・即売。桃の節句の贈り物にも喜ばれています。一足早い春を感じに、こけし村に足を運んでみてはいかがですか(12ページに関連記事)。表紙は、弥治郎系の新山真由美工人在制作した「雛こけし」を手にはほえむ安倍雅さん(福岡小4年)。「弥治郎こけし初挽き」では、こけし旗を手こけし村をPRしました。